

## 第17回北國新聞社旗争奪少年少女ドッジボール大会 進行スケジュール

7:00 役員【石田・高田・廣岡・成瀬・足滝・開・山作】/スタッフ【相木・村田・新谷雅・岡田・江川・新谷朋・高田・脇野・石橋・安田・加藤大・石橋 Jr】

設営協力チーム【松任の大魔陣 5名・寺井クラブ 5名】

北信越ブロック事務局長【西潟】 30名

(集合時間に間に合わなければ、入り口は一度締めますので入れません)

備品等の搬入→正面入口のみ…全員でコート内に搬入(台車貸出有)

北エントランスは使用不可

サーモグラフィーでの検温実施(通過するのみ)

・総括責任者【石田】

・コート設営:担当【廣岡・足滝・相木・新谷雅・岡田・江川・加藤大・石橋 Jr・松任の大魔陣 5名】

①メインコート 3コート

モルテンテープ使用(協会持参)

②サブコート 使用時間 9:00~16:00

防球フェンスは片づけてよいが終了時には元に戻す。

・オフィシャル設営【石田・成瀬・山作・村田・寺井クラブ 5名】

・記録設営【高田・石橋】

・衛生備品配置等【成瀬・新谷朋・高田・脇野・安田】本部・オフィシャル3か所・受付

衛生備品:アリーナ出入口に消毒アルコールスプレーの設置

トイレ(6か所)に、ハンドソープ・ペーパータオル・ゴミ袋・スリッパの設置

※このスポーツセンターでは、階段や廊下の右側進行・左側進行の印は不可です。

また、体育館施設の貸し出し等の交渉は個々ではできません(石田に申し出てください)

※駐車場【担当 足滝・帯同スタッフ1名】

駐車場A及びBに駐車(全員)

9:20 【帯同スタッフ】本部集合。筆記用具を持参する。

担当割を確認。本部・誘導担当は説明を受ける。

オフィシャル担当・コートの衛生担当者については担当コートを確認し、待機。審判会議終了後に各コート審判員からタイマーの使用方法、記録、物品の消毒について説明を受ける。

9:00~9:30 チーム・審判員・スタッフ入場

受付【帯同スタッフ2名】入口のあるサーモグラフィー前に立ち、立ち止まらないよう受付に誘導する。

午後から入場する金沢市内のチーム4チーム(鞍月・千坂・田上・NISHI)の受付  
石川県ドッジボール協会受付(茶色テーブル)

チェックシート 2 種類の提出 (体調管理チェックシート・健康チェックシート)

・途中の出入りの方は赤シールを貼る。

※大会旗・クラブ旗はガラスとガラスの間にひもで縛る (セロテープは使用不可)

チームには受付時に引っ掛けハンガーを渡す

10:00 監督会議・衛生委員会議：理事長、成瀬副理事長 (衛生担当)、相木競技委員長代行出席  
説明する。

10:30 開会式

各チームキャプテン・監督のみフロアに整列

※予選リーグ敗退のチームは順次退所してください (コロナ感染予防のため)

※競技運営について

#### 【審判員】

9:00~9:30 審判員入場 チェックシート 2 種類 (審判員・スタッフ用、大会前個人用) を受付に  
提出し、2 階審判控室に集合

9:40 審判会議

○感染予防対策のための変更事項ならびに諸注意

- ・審判員は試合中笛をくわえる時にはマスクは顎に下げておく。安全確認、協議、指導、罰則の宣告時など対面で会話をする場合にはマスクを上げる。呼吸が苦しい等着用困難な場合は外すことも可能。(必要に応じて交換できるよう各自複数枚準備する)
- ・整列なし、セットアップ状態から開始。試合開始時、挨拶の前に審判員は定位置につく。
- ・主審はコートマスター、記録員と共に対戦チームを確認して定位置につく。
- ・選手は準備ができ次第コートに入る。(立った状態で挨拶)
- ・選手がコートに入り、審判員が定位置についた事を確認し「お互いに礼」のコール。挨拶は声に出さず、礼のみ。
- ・主審「セットアップ」のコール。
- ・選手を座らせて人数確認。
- ・副審との人数確認は対面時に間隔をあける。(センターサークル上で対面) 主審「ジャンプボール」コール。この時副審は一度センターサークル外に下がる。
- ・主審は副審からボールを受け取った後、センターサークルより後方に下がり、選手から離れた位置で確認の笛を吹く。
- ・ジャンプボールの際に主審の笛は吹かない。
- ・ジャンプボールのやり直しの場合はセンターサークル外でタイムの笛を吹く。
- ・副審及び線審が同時に二人以上でタイム要求する際には、センターサークル上で止まる。
- ・安全確認の際は選手に触れない。(ただちに救護を要する場合を除く) 選手との距離をとる。
- ・指導、警告等の宣告も同様に選手、監督等との距離をとる。
- ・試合中に靴裏を拭いた選手がいた場合にはタイムをとり、コートマスターが当該選手の手指消毒を行う。
- ・主審、副審は試合終了の際はセンターサークル上で止まる。
- ・人数報告について：主審は動作とコール→記録員は声を出さずに人数をスコアカードに記入→手を挙げる→最後にコートマスターが両チームのスコアを確認し主審に手を挙げて完了とする。

- ・コートマスターの確認合図の後、主審は「立ちましょう」と声をかける。
- ・主審の「お互いに礼」で声を出さずに礼をする。
- ・主審の「解散してください」でチームは退場口へ移動する。審判員はシフトが続く人を除き解散。
- ・連続試合となるチームには2分間の給水時間を設ける。(2分間タイマーを設定)2分間を過ぎても速やかにコートに入る行動を見せないチームには指導あるいは罰則を与える。コートマスターは連続試合のチームに給水時間について確認する。続けて試合が可能な場合はそのまま進行。
- ・監督はスコアカードに署名する際の筆記用具を持参する。
- ・審判員は連続試合となる場合を除き、コートに出入りする際にはオフィシャル席のアルコールで手指消毒する。待機の審判員は試合終了後にコート内のモップ掛けを行う。(3試合毎)
- ・線審のフラッグは使用済みケースに入れる。コートの衛生担当スタッフがアルコール消毒をして机に置く。旗は1コートに2セット準備する。
- ・オフィシャルについても交代の際には使用した物品をアルコール消毒する。
- ・使用球は試合終了後、複数セットの場合はセット終了毎にコートの衛生担当スタッフに渡す。衛生担当スタッフが消毒し、ボール置きに置く。
- ・審判員は各自筆記用具を持参する。主審についてはオフィシャルの筆記用具を使用し、衛生担当スタッフに渡す。衛生担当スタッフが消毒を行う。その後所定の場所に置く。
- ・待機中はマスクを着用し、隣の人と間隔をあける。大声での会話は控える。運動直後や呼吸が整うまではマスクを外して距離をとること。決して無理をしない。

◎お弁当の配布はアリーナ裏の給水コーナーの近くで行います。

各自または担当責任者が取りに来てください。

◎審判員、スタッフに対し、弁当・500ml ペットボトル飲料を支給。(必要に応じて持参すること)  
飲み物は自己管理とし、ゴミは各自持ち帰る。アリーナ内は飲食物の持ち込み禁止。本部後方、アリーナ出入口外に給水コーナーを設置。トイレは給水場所奥の廊下にあります。

◎審判控室では密集を避ける。各自荷物、貴重品の管理を徹底すること。

◎昼食は2階審判控室でとる。出たゴミについては各自持ち帰る。

◎食事中、水分補給の際にはできるだけ会話は控える。飲食前には必ず手洗い、アルコール手指消毒を徹底する。

◎更衣室(1階サブアリーナ奥)、トイレの利用は混雑を避け、順番に行う。スリッパに履き替える。  
トイレ使用後は手洗いを徹底する。

◎体調不良等は無理せず、本部役員、競技委員長、コート責任者に申し出ること。

◎大会後の健康状態に留意し、新型コロナウイルス感染が判明した場合には速やかにチーム代表に報告すること。大会後個人チェックシートで各自検温、体調管理を行い保管する。